



Media release

(2021年8月26日にファドゥーツにて発表されたプレスリリースの翻訳版です。)

LGT、2021年度上半期は非常に堅調な純資産流入と大幅な事業成長を達成

リヒテンシュタイン公爵家が所有し、プライベートバンキングとアセットマネジメントを2本の事業の柱とし、国際的に事業を展開するグループ企業であるLGTは、2021年度上半期に大幅な成長を達成し、1億8,060万スイスフランのグループ利益を実現しました。運用資産残高は、良好な市場動向と活発な顧客活動を背景に、2021年6月末現在で14%増の2,750億スイスフランとなりました。この結果には、141億スイスフランという非常に多額の純資産流入(年率ベースで12%増)と堅調な運用実績が寄与しました。LGTは、2021年度下半期も持続可能な成長軌道を維持するものと確信しております。

LGTは、2021年度上半期も引き続き顧客事業を拡大するとともに、多様な資産クラスに関する投資専門知識の顧客への提供を強化してきました。良好な市況に加え、LGTのサステナブル投資ソリューションへの高い関心が、グループの広範囲にわたる収益成長に寄与しました。その一方でLGTは、アドバイザリーサービスと投資プロセスの強化、そしてデジタルプラットフォームの拡充のため、さらなる投資を行いました。

高い取引量による証券仲介事業の増収と前年同期と比較した資産ベースの拡大に牽引され、サービス収益は、21%増の6億9,200万スイスフランとなりました。トレーディング収益およびその他の営業利益は、1億5,950万スイスフラン(14%減)でした。これは、特にアジアの顧客とのデリバティブ取引によるトレーディング収益の拡大を為替ヘッジが相殺したためです。純金利収益は、長引く低金利環境を反映し、前年同期比28%減の1億190万スイスフランとなりました。全体として、総営業利益は6%増の9億5,340万スイスフランとなりました。

LGTは、2021年度上半期も引き続き、事業拡大のために多大な投資を行いました。人件費は17%増の5億6,260万スイスフランとなりました。これは、人員の順当な増加のほか、長期業績連動報酬に伴う見込み費用の増加を反映したものです。事業費および事務所費は1億2,770万スイスフランで、2020年度上半期より5%減少しました。これは、新型コロナウイルス蔓延のために出張費とマーケティング費が減少した一方、IT費と顧問料が増加した結果です。全体として、総営業費用は12%増の6億9,020万スイスフランとなりました。

経費率は、2021年6月末現在で72.4%となっています。それに対し、2020年12月31日現在では75.0%、2020年6月30日現在では68.6%でした。LGTは、2021年度上半期に1億8,060万スイスフランのグループ利益を達成しました。これは、前年同期の卓越した実績を5%下回ります。

LGTの中核的自己資本(Tier 1)比率は、2021年6月30日現在で22.8%と十分な水準にあり(2020年度末現在では21.9%)、また、流動性も高水準です。

すべての営業地域の新規預かり資産は12%の純増

LGTは、2021年度上半期に141億スイスフランという非常に堅調な純資産流入を記録しました。これは、12%の年間成長率に相当します。プライベートバンキングとアセットマネジメントの両事業がこの業績に貢献しており、すべての営業地域において堅調な純資産流入をもたらしました。2020年度下半期に見られた成長率の加速が、2021年度上半期も継続した形です。

純資産流入、良好な市場実績と運用実績、さらには為替の影響の結果として、運用資産残高は、2021年6月30日現在2,750億スイスフランに達し、2020年度末と比べて14%増加しました。このような状況で、LGT Private Banking の運用資産残高が初めて2,000億スイスフランの大台を超え、グループのアセットマネジメント部門である LGT Capital Partners の資産ベースも2021年6月末現在で700億スイスフランを超えるまでに拡大しました。

戦略と今後の動向

LGTは、2021年度下半期も持続可能な成長軌道を維持するものと確信しており、既存市場と新興市場の両方でポジティブな動向が続くと予想しています。ドイツ語圏の欧州において、LGTは、オーストリアにおけるUBSのウェルスマネジメント事業の買収を2021年7月末に完了しました。また、デジタル資産運用会社 LIQID の戦略的少数持分を取得することによって、ドイツにおける地位を強化しました。LGTは、この協力関係が、さまざまなメリットのなかでも特に業務のデジタル化をいっそう推進する原動力になると期待しています。ロンドンを本拠地とする LGT Vestra は、LGTが2016年に過半数持分を取得し、さらに2020年に全所有権を取得した会社で、グループの重要な支柱として大きな成功を収めています。中東・アジア地域では、LGTは、大手プライベートバンクのひとつであり、過去5年間に人員数は倍増して約1,000人に達し、運用資産残高は3倍に増加して760億スイスフランを超えました。地理的な拡大を図るとともに、LGTは、あらゆる資産クラスに関する投資専門知識、デジタルソリューションおよびプロセス、超富裕層向けサービス向上のため、継続的に投資を行っています。

3つの事業部門の分割については、インパクト投資会社の Lightrock はすでにグループから完全に独立しています。また、LGT Private Banking と LGT Capital Partners は現在、それぞれ独立した経営構造の下で運営されており、その新たな企業構造は2022年に発足する予定です。これらの段階を経ることで、個々の事業へより明確に集中することができ、さらなる成長の原動力が生まれるものと期待されます。

LGTの会長であるマックス・フォン・ウント・ツー・リヒテンシュタイン公子は、「近年、当社は堅調な成長を重ねており、創業100周年を迎える今年度上半期も、再び非常に良好な業績をあげることができました。創業以来LGTは、国際的に幅広い基盤を持ち、高く評価される金融機関へと発展を遂げ、あらゆる地域で事業を拡大し続けています。近頃のきわめて堅調な新規純資産増加率は、LGTブランドの魅力を手端的に物語っています。それは卓越した投資専門知識を反映するものですが、それ以上に重要なことに、お客様がLGTに寄せる信頼を浮き彫りにしており、非常にありがたく思っています。私たちは今後も、助言、ソリューション、サービスの質を高めるため、また、会社の成功を支える従業員のために、引き続き注力していく所存です」と述べています。

LGTの概要

LGTは、プライベートバンキングとアセットマネジメントを2本の事業の柱とし、国際的に事業を展開するグループ企業であり、リヒテンシュタイン公爵家が90年以上にわたって全株式を所有してきました。LGTの運用資産(2021年6月30日現在)は、個人の富裕層と機関投資家からの預り資産2,750億スイスフラン(2,974億米ドル)となっています。LGTでは、3,900人を超える社員が、欧州、アジア、南北アメリカ、中東の20を超える拠点で活動しています。www.lgt.com

お問い合わせ先

Christof Buri

LGT Group Marketing & Communications

Tel. +423 235 23 03

lgt.media@lgt.com

2021年6月30日現在の主要財務指標

	2021年1月1日- 6月30日	2020年1月1日- 6月30日	前年比(単位:%)
連結損益計算書(単位:100万スイスフラン)			
純金利収益・貸倒損失	101.9	142.4	-28.4
サービス部門の収益	692.0	572.3	20.9
トレーディング収益・その他営業収益	159.5	185.3	-13.9
総営業収益	953.4	900.0	5.9
人件費*	562.6	482.3	16.6
事業費・事務所費	127.7	134.9	-5.4
総営業費用	690.2	617.2	11.8
減価償却費・引当金	56.8	67.3	-15.6
税・少数株主持分	25.9	24.9	4.0
グループ利益	180.6	190.7	-5.3
純資産流入額(単位:10億スイスフラン)			
	14.1	1.6	
	30.06.2021	31.12.2020	
運用資産(単位:10億スイスフラン)			
	275.0	240.7	14.2
総資産(単位:10億スイスフラン)			
	50.2	49.9	0.7
グループ自己資本(単位:100万スイスフラン)			
	5 536	4 837	14.5
各種比率(単位:%)			
費用収益比率	72.4%	75.0%	
Tier 1 比率	22.8%	21.9%	
流動性カバレッジ比率	194.9%	221.6%	
社員数			
	3 910	3 838	1.9
格付け(ムーディーズ/スタンダード・アンド・プアーズ)			
	Aa2/A+	Aa2/A+	

半期業績の数値は未監査です。